

ボックス

ウェルBOX-右京

発行／社会福祉法人 京都市右京区社会福祉協議会

右京区ボランティアセンター

京都市右京区太秦森ヶ前町 22-3

TEL075-865-8567 / FAX075-865-8569

発行人／高屋宏章 編集人／石古一弥

URL: <http://www.ukyoku-syakyo.net> / E-mail: info@ukyoku-syakyo.ne.jp

目次

平成 29 年度右京区社会福祉大会	2
第 29 回右京福祉のまちづくり学校・ 平成 29 年度地域福祉推進委員会シンポジウム	2・3
平成 28 年度右京区社協決算報告・ 平成 29 年度右京区社協の重点課題	4
賛助会員制度について	5
右京区内の学区社協活動の取組	6
右京区ボランティアセンター	7
お知らせ	8



第27号

平成 29 年 12 月

9月13日 ANAクラウンプラザホテル京都にて開催 130名、1団体、1企業に表彰授与

長年に亘り右京区の地域福祉事業の向上に貢献いただいた方々を称える「右京区社協会長表彰」が9月13日（水）ANAクラウンプラザホテル京都にて行われ、学区社協役員をはじめとする民生児童委員・老人福祉員、社会福祉事業関係団体功労者らに表彰状が授与されました。受賞されました皆様、おめでとうございます。



「レジリエント・シティ」と地域の絆



元右京区長で平成29年3月に京都市副市長を任期満了により退任され、4月からレジリエント・シティ京都市統括監（CRO）としてご活躍されている藤田裕之様に『「レジリエント・シティ」と地域の絆』をテーマに、レジリエンスの概念と、それに関連付けて、地域コミュニティの活性化や少子化対策の重要性などについて御講演いただきました。

第29回右京福祉のまちづくり学校・平成29年度地域福祉推進委員会シンポジウム

今回は「地域の居場所づくりの新たな展開について」をテーマにし、伏見区二ノ丸学区社協・民協 高木春美 会長、信楽町牧区健康福祉会 めくもり喫茶「牧の里」杉本弘 代表、里見まさを 副代表をお招きし、社会的孤立を防ぐ取組と現在の課題を解決する具体策として、右京区内で拡がりを見せる居場所づくりをさらに発展させるため、活動報告をいただき、地域の居場所の新たな展開について、右京区内の約200名の地域支援者と共に検討しました。

主催：右京区社会福祉協議会・右京区地域福祉推進委員会
協力：右京区民生児童委員会



コーディネーター
大谷大学文学部社会学科
教授 志藤 修史 氏より

志藤教授は2つの活動報告を受け、「私が知っている居場所づくりの事例では、右京区から始まったサンデーモーニング等があり、そこでは運営される方々が集まり、対話を重ねることによって、“男性の居場所を作ろう”“多様な年代の人が集まれる居場所を作ろう”といった様々な知恵が出され拡がりを見せています。地元の人がどういうテーマで活動をしていくか、地域で求められているものは何かを考え、手を取り合い、上からの指示で活動をするのではなく、地域の理にかなった活動をしていくことが重要です。

今回ご報告いただいた2つの活動は、今後地域住民に身近な居場所づくりを拡げて行く中で、重要な手がかりになると思います。」と右京区内での活動の特徴に触れながら、これからの居場所づくりの方向性について助言いただきました。

続けて、「この2つの報告で共通していることは、色々な人と丁寧に“対話”をされていることです。地域の人、子ども、学校関係者など、対話を重ねていくことで、初めて地域の課題に気づき、地域で何をしなくてはならないのか、何が求められているのかははっきりと見えてきます。こうした対話の力が地域で改めて求められているのではないかと思います。」と今回の活動報告のような地域の居場所づくりが、右京区内でも増えていくことに期待し、地域支援者らにメッセージを送られました。



「MJキッズキッチン」に取り組んで

学区内の9割以上が市営住宅とUR住宅公団が占めている伏見区向島地域の二ノ丸学区でも、少子高齢化が進んでいます。

この地域で民生委員として活動されている高木会長は「夏休みで給食がなく、痩せてきている子がいる」「親がお金を与え、子どもだけで食事をしている」と子どもたちが孤独や寂しさを感じているのではないかと気がかりになり、京都文教大学の小林大祐先生に相談して「MJキッズキッチン」を立ち上げられました。

「MJキッズキッチン」は子どもたちに美味しいごはんを食べてほしい、子どもたちが普段の生活のなかで「ちょっと避難する」居場所のひとつになってほしいという願いのもと、小林先生をはじめ学区社協・民協等の地域役員や先生のゼミの学生と、商店街の空きスペースを利用したまちづくり拠点において、月に2回、お昼と夜の食事の時間帯で開催されています。

午前10時半から開始の昼食時間帯開催では、子どもたちと一緒に買物、調理、食事をともにします。親が多忙であったり、子育てにしんどさを抱えていたりするなかで、料理をする経験ができない子もいて、子どもたち自身が調理して「美味しいね」と言ってもらっ



て自信を持つ経験が、将来社会で働くときに活かせるのではないかという願いからです。

12時頃料理ができ、皆で食べ始めます。ある日のメニューはハンバーグ、マカロニサラダ、ピラフで子どもたちは無料で参加できます。食事が終わって片付けの後、遊びの時間で子どもたちは学生と室内でのゲームや、外遊びをします。時折ケンカもしますが、皆楽しそうに過ごし、なかにはスタッフにべったりと甘える子がいます。

毎回子どもが20～25名参加しますが、この取組を始めた成果は、買物から調理など子どもたちが自発的に行動するようになり、また子どもたちとスタッフが顔なじみになり、外で会った時に声かけができるようになったことです。

しかし、まだこの取組を知らない親子がたくさんいる、普段地域を見ているなかで、他にも気になる子どもがいるけど、なかなか来られない子どもたちに、今後も働きかけていきたいと話されました。

この「MJキッズキッチン」が何よりも子どもたちにとって、安心して過ごせる居場所であること、また夜の時間帯の取組では、保護者や高齢者も参加することで、多世代で交流できる地域の居場所となること、そして皆で食事をする楽しさを知って、家族や人と人とのつながりや絆がより強くなる、そんな地域の居場所になってほしいと心から願っておられます。



「安心・安全な牧での暮らし」

甲賀市信楽町牧区の牧区健康福祉会は、平成26年度より“住民どうしの支え合い”、“訪問活動の充実”、“ぬくもり喫茶「牧の里」”の「見守りの三本柱」を制定し、活動に取り組んでおられます。杉本代表からはぬくもり喫茶「牧の里」のお話しを中心に報告をいただきました。

ぬくもり喫茶「牧の里」を作られたきっかけは、平成18年に信楽を襲った台風被害から、牧区を改めて見つめ直してみると少子高齢化が進む現実、地域によっては限界集落の状況にあることに気づきました。「友達はいらけど会いに行くのが体力的にきつい」「外に出るのが億劫だ」という高齢者の声を受け、もっと元気づけたいという思いから、ぬくもり喫茶「牧の里」を平成27年1月に開設しました。地域の方から使わなくなった商店をご提供いただき、自分たちで清掃や壁の塗装、クロス貼り、トイレを改修しオープンまで25日間、延べ213名のご協力により開設しました。

平成28年12月には営業許可を取り、負担のない範囲でメニューの充実に取り組んでいます。飲み物は全て100円、月末の土曜日は特別メニューを提供しています。広報は3ヶ月に1回チラシの全戸配布、有線放送を活



用したイベント告知を行っています。また各新聞に掲載された記事を店内に掲示し、見られた方は「こんなにも紹介してもらっていたなんて知らなかった」「牧の里を通じて信楽や牧が知られるようになり嬉しいな」等の声をいただいています。

運営面では毎週土曜日開催の「野菜市」に場所を提供し、貴重な財源となっているだけでなく、将来的に高齢者の買い物支援にも繋がたいと考えておられます。しかし野菜を提供してくださる方が高齢化し、次世代への働きかけも必要と考えておられます。また各種団体や地域の方から備品を寄贈いただき、なかでもプロジェクターは一大イベント「歌声喫茶」で大活躍しているとのこと。

開設から2年半が経過し、平成28年度は延べ602名にスタッフとしてご協力いただき、2,509名にご利用いただきました。今後の課題はスタッフと収入源の確保、男性利用者の集客です。参加の少ない男性客を対象とした囲碁・将棋・健康麻雀教室の開設、2階の改修を行い多目的スペースを設置しました。「ぬくもり喫茶牧の里」がこれから牧区の皆様に幅広く利用いただけるような新たな取り組みを始めておられます。



平成28年度 右京区社協決算報告

資金収支計算書 (自) 平成 28 年 4 月 1 日 (至) 平成 29 年 3 月 31 日 区社協本部拠点区分

単位: 円

	勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A) - (B)
事業活動 による収支	収入	会費収入	16,708,000	16,247,941	460,059
		寄附金収入	1,130,000	1,176,292	-46,292
		経常経費補助金収入	9,682,000	9,539,749	142,251
		受託金収入	18,172,000	18,165,320	6,680
		事業収入	2,763,000	2,751,400	11,600
		受取利息配当金収入	233,000	265,120	-32,120
		その他の収入	305,000	671,085	-366,085
		事業活動収入計 (1)	48,993,000	48,816,907	176,093
	支出	事業費支出	15,327,000	13,750,203	1,576,797
		事務費支出	7,993,000	8,535,701	-542,701
		助成金支出	28,234,000	26,835,718	1,398,282
		負担金支出	100,000	100,000	0
事業活動支出計 (2)		51,654,000	49,221,622	2,432,378	
	事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	-2,661,000	-404,715	-2,256,285	
施設整備等 による収支	収入	施設整備等収入計 (4)	0	96,000	-96,000
	支出	固定資産取得支出	778,000	773,820	4,180
		施設整備等支出計 (5)	778,000	773,820	4,180
		施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	-778,000	-677,820	-100,180
その他の活動 による収支	収入	長期貸付金回収収入	0	2,000	-2,000
		積立資産取崩収入	1,637,000	1,637,864	-864
		拠点区分間繰入金収入	500,000	500,000	0
		その他の活動収入計 (7)	2,137,000	2,139,864	-2,864
	支出	積立資産支出	7,705,000	7,703,058	1,942
		その他の活動による支出	0	0	0
		その他の活動支出計 (8)	7,705,000	7,703,058	1,942
		その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	-5,568,000	-5,563,194	-4,806
予備費支出 (10)			60,000	0	60,000
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)			-9,067,000	-6,645,729	-2,421,271
前期末支払資金残高 (12)			46,037,000	46,034,417	2,583
当期末支払資金残高 (11) + (12)			36,970,000	39,388,688	-2,418,688

平成29年度 右京区社協の重点課題

1. 「ちょいボラ」等の新しい助け合い活動の推進

「地域支え合い活動創出コーディネーター」による「京都市地域支え合い活動創出事業」を推進するとともに、「区ちょいボラ隊」を具体化して、学区社協による「ちょいボラ」等の新しい助け合い活動を支援する取組の着実な推進を図ります。

2. 「健康すこやか学級」の新たな取組と「地域の絆づくり事業」の推進

これまでの到達点と課題をふまえ、職員が重点的に支援することで「健康すこやか学級」の広報の充実や新規利用者の受入れ、明瞭な事業運営を推進するとともに、「地域の絆づくり事業」(見守り活動・居場所づくり・相談事業)の推進を図ります。

3. 福祉施設等との連携による「地域における公益的な取組」の推進

社協の総合力とネットワークを活かし、社会福祉法人による「地域における公益的な取組」の積極的な推進を図ります。

4. 地域あんしん支援員による寄り添い支援の充実

「地域あんしん支援員」を配置し、これまでも増して行政や関係機関、地域との連携のもと、情報共有に努め、寄り添い支援の充実を図ります。

5. 区災害ボランティアセンターの機能強化

市災害ボランティアセンターとの連携により、学区社協の連携の在り方の具体化や区総合防災訓練等の場で、区民周知や要配慮者ニーズの聞き取りの実施等により効果的な運営を図ります。

車椅子寄贈

株式会社紅中様(本社大阪)より右京区内の学区社協、社会福祉施設に車椅子 20 台を寄贈いただきました。創業 60 周年記念事業として平成 23 年から創業の地 京都における地域福祉活動、社会福祉事業への貢献活動として、毎年継続して車椅子の寄贈をされています。

温かい御厚意に感謝し、寄贈いただきました車椅子は大切に活用させていただきます。



寄付金・物品コーナー

右京区の地域福祉発展のため貴重なご厚志を賜り誠にありがとうございました。大切に使用させていただきます。

(平成 28 年 11 月～ 29 年 10 月)

上村 俊次 様 松下 勇 様 株式会社 信天堂 様

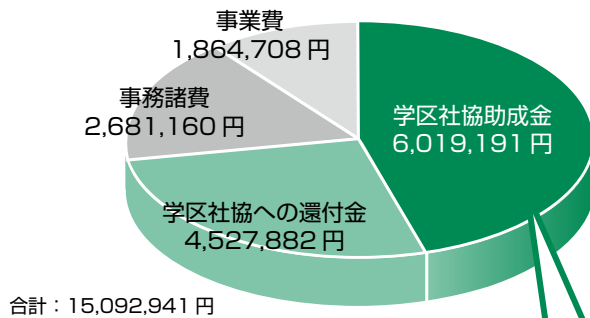
みんなの力が右京区を元気にする 賛助会員制度

賛助会員制度とは？

右京区社協では、区民の皆様のご理解と参加・応援のもとで、区社協と学区社協が取り組む地域福祉活動を充実させるため、賛助会員を募集しています。

賛助会員とは、区社協と学区社協の活動の趣旨・目的に賛同し、区内の地域福祉活動を財政的にご支援いただく“地域福祉の応援団”です。

平成 28 年度 賛助会費の使途内訳



学区社協が実施する主な事業

- ①在宅老人ふれあいまちづくり事業（会食会・茶話会・配食サービスなど）
- ②障害者地域交流事業
- ③寝具クリーニングサービス事業
- ④広報誌発行事業
- ⑤ボランティアスクール開催事業
- ⑥介護者家族等懇親会開催事業
- ⑦地域まつり・福祉大会開催事業
- ⑧子育て支援活動推進事業
- ⑨学区社協重点活動プラン

平成 28 年度 賛助会費募集実績一覧

学区名	賛助会費（円）
太 秦	2,305,700
南 太 秦	511,000
常 磐 野	787,050
安 井	788,200
嵯 峨 野	980,550
山 ノ 内	539,000
西 院 第 一	494,776
西 院 第 二	813,000
梅 津	554,900
北 梅 津	655,300
嵯 峨	1,436,500
広 沢	676,500

学区名	賛助会費（円）
嵐 山	428,500
水 尾	17,000
宕 陰	70,000
花 園	664,800
御 室	966,905
宇 多 野	525,000
高 雄	436,500
西 京 極	692,760
葛 野	364,000
京 北	385,000
合 計	15,092,941

平成28年度 賛助会員募集

ご協力いただき
ありがとうございました。
ございました。

平成29年度も 賛助会員募集を行います。

ご理解・ご協力のほど
よろしくお願いします。



嵯峨野学区ボランティアスクール



葛野学区 春のふれあい祭り



常磐野学区 子育てサロン

社会福祉協議会とは？

社会福祉協議会（以下、社協）は、地域住民や社会福祉関係者の参加により、地域の福祉推進の中核としての役割を担い、さまざまな活動を行っている非営利の民間組織です。京都市では市・区・学区の三層の社協活動を推進し、学区社協が最前線となり健康すこやか学級事業、サロン活動、配食サービスなど、様々な地域福祉活動を展開し、市・区の社協が学区社協活動の後方支援を行っています。

右京区内の学区社協の取組

第5期学区社協 重点活動プラン策定

学区社協重点活動プランとは、地域が主体となって地域課題を明確にし、何を目的に活動に取り組むべきかという目標となるものです、学区社協ごとに今年度から2年間の重点活動プランを策定しました。プランの達成に向けて、学区社協では計画的に地域福祉活動をすすめていきますので応援よろしくをお願いします。

学区名	29～30年度 重点活動プラン
太 秦	「みんなが気楽に集える居場所づくり」笑い声が聞こえる～お話の館
南 太 秦	高齢者世帯を安全に守るため調査し支援していく
常 磐 野	昨年につづき老々世帯への配食とふとん丸洗いを実施定着する
安 井	福祉活動の輪を広げるためボランティアの組織化をすすめる
嵯 峨 野	第4期のプランを継続させると共に社協行事への参加者の年齢層を広げる取組を行う
山 ノ 内	学区の皆さんとコミュニケーションを深め、福祉のまちづくりを進めてゆく事業構築を図る
西 院 第 一	西院小学校の子どもたちが、ふれ合い事業や、見守り活動に積極的に参加することを通して、ボランティアや、福祉活動の理解を深める事業を実施する
西 院 第 二	引き続き、地域の安全のため、福祉見守りマップを作成し、配布する
梅 津	健康すこやか学級の更なる利用者増に向けた取組をすすめる
北 梅 津	自治会未加入者を含めた要配慮者の把握に努め、関係機関との連携を深めつつ、見守り活動の充実に取り組む
嵯 峨	地域の方の参加と応援を得て、顔の見える福祉活動の実践に取り組む
広 沢	高齢者ニーズに対応した事業の充実と実施部隊として、ボランティアの活用を拡充する

学区名	29～30年度 重点活動プラン
嵐 山	すこやかサロン事業について、広報を工夫する等多くの方が参加できるように努める
水 尾	過疎と高齢化が進む山村地域の中で、住み慣れた地域で孤立することなく、自立した日常生活が過ごせる支援と見守り等の活動展開する
宕 陰	宕陰地域活性化事業（空き家対策）として、移住者全体で取組を進行中である
花 園	薄れつつある助け合い、繋がり作りをもう一度考え、高齢者が安心出来る町づくりを自治会、各種団体にも呼びかけ、福祉ボランティアと共に活動をすすめる
御 室	これまでの成果をふまえ、民生児童委員との連携のもと、諸行事への参加の増加を図る
宇 多 野	すこやか事業の新たな取組にともない、利用者の参加促進(特に男性)とメインにPRを充実させていきたいと考えている
高 雄	社協活動の担い手を増やし、様々な活動を通じた高齢者の見守り活動をさらにすすめる
西 京 極	西京極福祉災害ボランティア登録者の意識向上を計る目的で研修会の実施を行う
葛 野	これからはもっと男性も女性と一緒にふれあえる、健康すこやか学級をつくる
京 北	誰もが支え合い、暮らしの向上につなげられる活動をすすめる

宇多野社協

誰でも気軽に利用できる健康教室を目指して

宇多野社協では毎月第2金曜日と第4水曜日、右京老人福祉センターにおいて健康すこやか学級「健康教室」を実施しています。毎回20～30名程度の参加者がおられますが、男性にもっと参加して欲しい、プログラムをさらに充実させたいという思いから、今期の学区社協重点活動プランにおいて「すこやか事業の新たな取組にともない、利用者の参加促進（特に男性）をメインにPRを充実させていく」を策定されました。

利用者の参加促進においては、ポスターを学区の広報板や老人福祉センターに掲示、毎月発行のセンター便りでの開催日の掲載、回覧板にチラシをいれる等広報に力をいれています。さらに社協役員が町内の男性やセンター利用者へ声かけを行うことで、利用者全体の増加につながっただけでなく、新規の男性利用者も来られるようになりました。

またプログラムの充実においては従来から取り組んできたヨガに加え、介護予防・認知症予防に特化した取組も始めたほか、講師が利用者に積極的にコミュニケーションを取り、和やかな雰囲気づくりを心がけることで、運動するだけでなくお互いの距離が近づき、利用者が楽しく継続的にいきたいと思えるような教室づくりを進めています。

12月にはアンケート調査を予定しています。利用者にもっと「健康教室」を気軽にご利用いただくため、何を求めているのか、どのようなことを期待しているのかを把握し、それに応えられるよう事業の更なる充実を力を入れています。



高雄社協

高齢者が安心して暮らせるための見守り活動と担い手づくり

高雄学区は高齢化率が30%を超え、南北に長い山間地域で公共交通機関の本数も少なく、車がなければ外出が難しい地域です。高雄社協では高齢者が安心して暮らせるように、配食サービス事業、見守り訪問活動、サロン活動など、様々な取組を行っています。

配食サービス事業は、70歳以上の高齢者、希望される独居高齢者世帯の方を対象としています。ボランティアさんがご自宅を訪問し、お弁当をお届けする際に「いつもとお変わりないですか」と会話を交え、見守り活動にもつなげています。会話の中で「閉じこもりがちでお友達と話がしたい」と話されると、健康すこやか学級（すこやかサロン）やサロン活動にお誘いしています。

すこやかサロンでは、外出が難しい人の孤立を防ぐためタクシーによる送迎も実施し、健康チェックやレクリエーション、運動などのプログラムも取り入れ、介護予防や健康づくりを行える居場所となっています。レクリエーションでチーム別対抗戦が行われると参加者からは「おーっ!」と歓声や笑い声が上がっています。

しかし、活動を継続するにはボランティアさんの力が必要です。お勤めをしながら活動に参加される方もおられ、「来られるときだけで構いません。無理のない範囲でお手伝いだけできませんか」と声かけを行います。利用者にとって、同じ地域の顔なじみの人が活動されていることは安心感にもつながります。気軽にそして継続的に参加してもらえるよう意識しながら取組んでいます。



右京区ボランティアセンター

ボランティアセンターでは「ボランティアしたい・してほしい・学びたい」などのボランティアに関する相談を受付けています。

ボランティアグループ連絡会の活動振興、ボランティアに関する講座、またボランティア活動に必要な保険の加入手続き、助成金情報の案内、車椅子、プロジェクター等の機材の貸出を行い、様々な活動の支援を行っています。お気軽にご相談ください。

ボラセン
って？

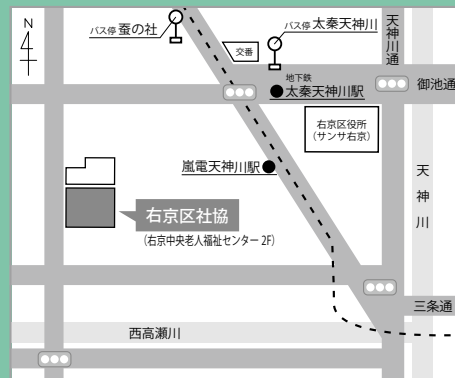
ボランティア相談受付時間

月～金曜日 9:00～17:00（夜間、土日祝日はFAXでも可）

TEL: 075-865-8567 FAX: 075-865-8569

住所 右京区太秦森ヶ前町 22-3

ホームページ <http://www.ukyoku-syakyō.net>



要約筆記教室 受講者募集中！

要約筆記とは？

聞こえない、聞こえにくい方に話の内容を書いて伝える方法です。

個人のときは紙に書いて、大勢のときにはOHCという機器を使って伝えます。



日時 平成30年1月27日（土） 13:30～15:30

場所 ホテルビナリオ嵯峨嵐山
（コミュニティ嵯峨野 JR 嵯峨嵐山駅下車すぐ）

対象者 要約筆記に関心のある方

参加費 無料

定員 20名（先着順）

申込み 右京区社協・右京区ボランティアセンター
（TEL 075-865-8567）

主催 京都市中途失聴・難聴者協会右京支部

協力 京都市要約筆記サークル「かたつむり」右京区会員・
右京区社協

ボランティアグループ活動紹介（京北）

京北対話ボランティアグループ

私達、「対話ボランティアグループ」は、お一人暮らし等の高齢者の方のご自宅に訪問し、お話し相手をさせていただき、皆さんに少しでも元気になってもらうことを目的に活動しています。現在12名のメンバーで活動しています。利用者の方に、2人のメンバーで月に2回、1時間あまりの訪問をしています。回を重ねると、利用者の方が元気にお話され、笑顔が見えると、私たちの気持ちも和み、活動に喜びを感じます。人生の先輩である利用者の皆さんに元気になっていただきたいと思います。



被災者とボランティアをつなぐ 災害ボランティアセンター



災害ボランティアセンターとは、大規模災害時のボランティア活動拠点として設置され、区災害対策本部や地域と連携を取りながら、被災者の困りごとの把握、ボランティアの受入及びコーディネート等を行います。

発災時はまず身の安全確保、家族の安否確認をし、近隣の要配慮者への声かけをすることで、最小限の被害に抑えることができます。

近年度重なる災害において、住民にとってより身近な地域での支援が必要とされるため、右京区社会福祉協議会では、毎年区総合防

災訓練にあわせて区災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施しています。

日頃から近隣にお住まいの配慮が必要な方の把握および絆づくり、また災害ボランティア活動への地域の皆様のご理解とご協力宜しくお願いいたします。



みなさんのご来場をお待ちしております！！

福祉ボランティア・社協フェスタ ～共につくろう きょうの絆～

開催日：平成30年3月4日（日） 10:30～15:00

場所：ひと・まち交流館 京都

内容：子ども体験、福祉体験・相談、地域福祉活動の紹介・展示、ボランティア交流、飲食・喫茶などのコーナー



